



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 眞二

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 経営管理本部長兼経営企画部長 (氏名) 中 研悟 TEL 06-7655-5000

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,730	6.4	284	55.3	420	26.4	310	98.6
2022年3月期第2四半期	9,141	5.6	183	16.4	332	0.7	156	3.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 254百万円 (30.6%) 2022年3月期第2四半期 195百万円 (△20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	3.07	-
2022年3月期第2四半期	1.54	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,652	13,948	79.0
2022年3月期	17,342	13,795	79.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 13,948百万円 2022年3月期 13,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	1.00	1.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	1.4	680	15.5	760	3.8	440	3.9	4.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	101,295,071株	2022年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	387株	2022年3月期	387株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	101,294,684株	2022年3月期2Q	101,294,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう美と健康に関する多彩なサービスを提供する『美の総合総社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品ならびに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など、新たな商品・サービスの拡充を推進しております。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緊急事態宣言などの行動制限は解除され、景気に持ち直しの動きが期待されたものの、7月以降、第7波となる新型コロナウイルス感染症の影響の他、世界的な原材料費の高騰や国際情勢の緊迫、円安の急進などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、日々の体温チェックやマスクの着用、除菌や清掃など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、お客様および従業員に安心・安全な店舗空間の提供を継続してまいりました。

このような状況のもと、婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の限定カラー商品が好評を博し順調に推移した他、原材料費高騰等により本年10月以降に一部商品の値上げ告知に伴う駆け込み需要もあり、売上、利益ともに計画を上回って推移いたしました。

さらに、婚礼・宴会関連事業ならびに、その他（主に美容関連事業）において、着実な回復基調のもと推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高97億30百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益2億84百万円（前年同期比55.3%増）、経常利益4億20百万円（前年同期比26.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億10百万円（前年同期比98.6%増）と前年同期比で増収増益となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績は次のとおりです。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間において、補整下着の限定カラー商品が好評を得るとともに、本年10月以降に一部商品の値上げ告知に伴う駆け込み需要の他、オリジナルサプリメント「M.B.M.S（マルコビューティメイクサプリメント）」の定期購入が順調に推移したこと、さらに「MARUKO ASSE（マルコアッセ）」（オーダーメイドインソール及び専用シューズ）において、女性のお客様に加え、男性のお客様が増加するなど、新たなお客様の開拓により、売上、利益ともに計画を上回って推移いたしました。

店舗展開においては、福井県に初出店した他、9店舗の移転・改装を行い、お客様にご満足いただける店舗づくりを推進いたしました。

また、テレビCMの放映やウェブプロモーションなど、多彩なメディアプロモーションによる集客が好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は87億22百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は4億31百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

[マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨販売が主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、国内出生数が引き続き低迷するなど、厳しい経営環境が続く中、減収となりましたが、収益改善に向けて取り組みました。

また、安産・子授けで有名な東京の水天宮近くにある店舗において、新たな収益基盤の構築に向け、立地を活かしたフォトスタジオサービスが順調に立ち上がりました。

以上の結果、売上高は5億36百万円（前年同期比12.8%減）、セグメント損失は59百万円（前期は67百万円のセグメント損失）となりました。

〔婚礼・宴会関連事業〕

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの飲食事業の運営が主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、コロナ禍が一定の落ち着きを見せたことから、婚礼事業においては、挙式のご予約・内覧が復調して推移いたしました。

また、法人向け宴会やイベント運営について営業を強化したことから、宴会事業においても着実に収益改善に向けて推移いたしました。

以上の結果、売上高は1億75百万円（前年同期比65.7%増）、セグメント損失は92百万円（前期は1億17百万円のセグメント損失）となりました。

〔その他〕

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、美容関連事業において、安定的な顧客基盤に加え、物販売上が好調に推移した結果、前年同期比で増収増益となりました。

以上の結果、売上高は3億21百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は2百万円（前期は16百万円のセグメント損失）となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は119億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億99百万円増加いたしました。これは主に、関係会社貸付金の増加、売掛金の増加、現金及び預金の減少、商品の減少の結果によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は56億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物の増加、貸倒引当金の増加及び退職給付に係る資産の減少の結果によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は32億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億61百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加、賞与引当金の増加及び未払金の減少、株主優待引当金の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は5億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債の減少の結果によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は139億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び退職給付に係る調整累計額の減少の結果によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は31億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ、21億84百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は36百万円（前年同期は1億86百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億20百万円、仕入債務の増加2億82百万円、棚卸資産の減少1億98百万円等による資金の増加、売上債権の増加9億97百万円及び未払金の減少1億27百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は20億17百万円（前年同期は5億77百万円の減少）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入43億50百万円、関係会社貸付金の回収による収入20億円等による資金の増加、関係会社貸付けによる支出50億円、貸付けによる支出30億円及び有形固定資産の取得による支出3億16百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は2億3百万円（前年同期は6億15百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額1億円及び株主優待費用による支出79百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,289,538	3,105,479
売掛金	3,210,351	4,186,009
商品	1,274,061	1,119,608
原材料及び貯蔵品	230,028	186,251
短期貸付金	1,350,000	—
関係会社短期貸付金	—	3,000,000
その他	387,972	427,235
貸倒引当金	△69,878	△53,441
流動資産合計	11,672,073	11,971,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,944,980	2,081,982
その他(純額)	1,603,115	1,564,344
有形固定資産合計	3,548,095	3,646,326
無形固定資産	437,929	421,704
投資その他の資産		
その他	1,769,318	1,728,024
貸倒引当金	△85,345	△114,275
投資その他の資産合計	1,683,972	1,613,748
固定資産合計	5,669,996	5,681,780
資産合計	17,342,070	17,652,923
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871,284	1,153,524
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	153,052	210,062
賞与引当金	149,309	273,000
ポイント引当金	71,000	82,000
株主優待引当金	201,505	107,036
資産除去債務	17,669	13,946
その他	1,477,261	1,262,716
流動負債合計	3,041,082	3,202,287
固定負債		
資産除去債務	495,820	495,889
その他	10,004	5,952
固定負債合計	505,825	501,841
負債合計	3,546,907	3,704,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	695,257	904,587
自己株式	△72	△72
株主資本合計	13,660,523	13,869,853
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	134,638	78,940
その他の包括利益累計額合計	134,638	78,940
純資産合計	13,795,162	13,948,794
負債純資産合計	17,342,070	17,652,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,141,366	9,730,530
売上原価	2,175,774	2,377,069
売上総利益	6,965,591	7,353,460
販売費及び一般管理費	6,782,514	7,069,144
営業利益	183,076	284,315
営業外収益		
受取利息	3,550	47,758
受取手数料	62,702	78,217
株主優待引当金戻入額	79,021	—
その他	8,312	14,051
営業外収益合計	153,587	140,027
営業外費用		
支払利息	1,224	283
貸倒引当金繰入額	866	—
租税公課	1,007	3,050
その他	1,118	779
営業外費用合計	4,217	4,113
経常利益	332,447	420,229
特別利益		
受取補償金	—	25,373
その他	13,278	2,567
特別利益合計	13,278	27,940
特別損失		
減損損失	3,682	1,028
新型コロナウイルス感染症による損失	2,979	—
災害による損失	—	20,765
その他	7,623	6,002
特別損失合計	14,286	27,796
税金等調整前四半期純利益	331,439	420,374
法人税、住民税及び事業税	55,208	121,936
法人税等調整額	119,786	△12,186
法人税等合計	174,994	109,749
四半期純利益	156,445	310,624
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,445	310,624

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	156,445	310,624
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	38,793	△55,698
その他の包括利益合計	38,793	△55,698
四半期包括利益	195,238	254,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,238	254,926
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	331,439	420,374
減価償却費	182,555	200,291
減損損失	3,682	1,028
長期前払費用償却額	10,254	9,489
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,845	12,493
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△87,328	123,690
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△70,000	11,000
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△132,445	△94,469
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,907	—
受取利息	△3,550	△47,758
支払利息	1,224	283
助成金収入	△13,278	△2,022
受取保険金	—	△545
災害による損失	—	20,765
受取補償金	—	△25,373
固定資産除却損	4,411	1,234
賃貸借契約解約損	266	156
売上債権の増減額 (△は増加)	△66,968	△997,867
棚卸資産の増減額 (△は増加)	127,142	198,229
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	11,558	3,937
前払費用の増減額 (△は増加)	13,823	△92
未収消費税等の増減額 (△は増加)	20,999	△5,522
仕入債務の増減額 (△は減少)	76,387	282,240
未払金の増減額 (△は減少)	△76,768	△127,369
未払費用の増減額 (△は減少)	△34,568	△5,172
前受金の増減額 (△は減少)	53,032	579
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△76,938	1,328
その他	43,676	44,272
小計	325,544	25,198
利息の受取額	3,033	46,510
利息の支払額	△786	△283
法人税等の支払額	△149,425	△62,749
補償金の受取額	—	25,373
保険金の受取額	—	545
助成金の受取額	7,792	2,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,158	36,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社貸付けによる支出	△1,000,000	△5,000,000
関係会社貸付金の回収による収入	1,500,000	2,000,000
貸付けによる支出	△1,300,000	△3,000,000
貸付金の回収による収入	500,000	4,350,000
有形固定資産の取得による支出	△192,529	△316,985
資産除去債務の履行による支出	△25,577	△28,993
無形固定資産の取得による支出	△65,048	△48,342
差入保証金の差入による支出	△14,262	△19,542
差入保証金の回収による収入	24,545	51,748
その他	△5,039	△4,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	△577,911	△2,017,049

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△450,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,043	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△27,555	△23,105
配当金の支払額	△100,756	△100,749
株主優待費用による支出	△35,787	△79,772
財務活動によるキャッシュ・フロー	△615,142	△203,627
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,006,895	△2,184,059
現金及び現金同等物の期首残高	7,279,592	5,289,538
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,018	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,255,677	3,105,479

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,150,742	609,902	89,392	8,850,038	291,328	9,141,366
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,983	5,270	16,321	29,574	920	30,494
計	8,158,725	615,172	105,714	8,879,612	292,248	9,171,860
セグメント利益 又は損失(△)	384,032	△67,853	△117,123	199,055	△16,365	182,689

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	9,141,366
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△30,494	—
計	△30,494	9,141,366
セグメント利益 又は損失(△)	387	183,076

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額387千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,721,896	536,429	150,761	9,409,087	321,442	9,730,530
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	700	—	24,395	25,095	50	25,145
計	8,722,596	536,429	175,157	9,434,183	321,492	9,755,676
セグメント利益 又は損失(△)	431,533	△59,694	△92,596	279,241	2,867	282,108

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	9,730,530
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△25,145	—
計	△25,145	9,730,530
セグメント利益 又は損失(△)	2,206	284,315

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,206千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。